

コロナ禍における普通教室での授業

感染症対策を行い、安全で楽しい学校生活を送りましょう



密を避ける



換気に留意



飛沫防止

換気扇を作動する

教員・児童生徒は
マスクを着用する

※十分な身体的距離が確保
できる場合は、マスクの着
用は必要ありません。

手洗いが難しい
場合は手指を
アルコール消毒する

扉、窓を開ける
(対角)

天窓を
開ける

サーキュレーターを作動する

窓を開ける
(対角)

CO₂濃度を測定する

できるだけ、前後左右の距離を取るよう座席を配置する

※イラストの座席配置は一例です。

外から教室に入るときには必ず手洗いをする

JEMA

Japan Educational Materials Association.

一般社団法人 日本教材備品協会

コロナ禍における普通教室での授業の実施

児童生徒たちに、感染症対策をしながら、安全に授業を受けて欲しいとの願いから、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」をベースとして、留意事項をまとめました。

各自治体のレベルに沿った予防対策が実施される中で、この資料が普通教室の感染症対策の一助になることを願います。

3密対策

① 密閉

- 窓を開ける（対角線上に）
- 換気扇を作動する
- サーキュレーターを作動する
- CO₂濃度を測定する

② 密集

- できるだけ距離を取るよう座席を配置する

③ 密接

- マスクを着用する

基本的な感染症対策

① 手洗いの実施

- 外から教室に入る時は必ず手洗いを
する
- 手洗いが難しい場合は消毒用アルコール
等で手指消毒をする

② 清掃の実施

- 清掃により清潔な空間を保つ
- 1日に1回は大勢がよく手を触れる箇所
（ドアノブ、手摺、スイッチ等）を消毒・
除菌する

